

# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2020年度	2年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
学科	色彩論Ⅱ	初谷希代香	1単位 24時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>			
色彩論Ⅰの内容から、さらに色彩の知識を深めていきます。配色の応用方法と活用のしかた、UC（色のユニバーサルデザイン）など、色の捉えられ方や、調和論を活用した表現の取り組みを行います。			
<b>【講義概要】</b>			
色の効果を活用した作品の制作（コンクール応募作品含む） AFT色彩検定2級・UC（色のユニバーサルデザイン）級対応。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	カラーイメージと配色1（課題①）		
2	カラーイメージと配色2（課題②）		
3	課題①、②制作		
4	課題①、②制作		
5	課題①、②制作		
6	配色技法について（課題③）		
7	課題③制作		
8	色の表示：色名・マンセル表色系（課題④）		
9	課題④制作		
10	課題④制作		
11	UC（色のユニバーサルデザインについて）（課題⑤）		
12	課題制作⑤		
13	コンクール作品説明と制作		
14	コンクール作品制作、色彩検定質問対応（希望者）		
15	コンクール作品制作、色彩検定質問対応（希望者）		
16	コンクール作品制作、色彩検定質問対応（希望者）		
<b>【成績評価方法】</b>			
課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、成績評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
<b>【授業の特徴・形式と教員紹介】</b>			
講義・演習形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 1972年埼玉県生まれ。東洋工学専門学校（現東京環境工科専門学校）インテリアデザイン科卒。 住宅地図会社勤務後、グラフィックデザイナーの伴侶のもとで、色彩提案、CGデザインアシスタントを行いながら、色彩講師、パーソナルカラーアドバイザーとして活動中。AFT認定色彩講師。UC級認定講師。UC級アドバイザー。1級カラーコーディネーター（ファッション）。			

## 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2020年度	2年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	フランス語II	内田雅之	2単位 37.5時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>			
フランス語1の修了者を対象として、一年次に習得した基礎力を基盤としながら会話表現・文法の両面での知識を広げていきます。また、少しずつ書かれたものを読む練習も行います。			
<b>【講義概要】</b>			
前期は、まず問題練習などを通じて、書くという別観点を少し意識しながら昨年の復習を行います。その後複合過去、単純未来へと文法面で次のステップへと移っていきます。後期は、フランス旅行の機会を想定して、オリジナルのフランス旅行のしおりを作成していく課題が課され、校内展示の機会を設けます。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション	17	講義
2	講義	18	講義
3	講義	19	講義
4	講義	20	講義
5	講義	21	講義
6	講義	22	講義
7	講義	23	講義
8	講義	24	講義
9	講義	25	講義
10	講義	26	講義
11	講義	27	講義
12	講義	28	講義
13	講義	29	講義
14	講義	30	講義
15	講義	31	講義
16	中間試験	32	後期試験
<b>【成績評価方法】</b>			
期末ごとに試験を行い100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
<b>【授業の特徴・形式と教員紹介】</b>			
講義・ディスカッション形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 1969年福岡県生まれ。早稲田大学大学院文学研究科仏文専攻修士課程修了。多摩美術大学非常勤講師。 また俳優養成所を経て映画・舞台に出演、受賞作多数。またTHEATRE茶房の冠でプロデュースも行ない、ギャラリー・プリントでの『クロワゼ』公演、朗読、ミュージシャンやビデオアートとのコラボレーションなど活動の幅を広げている。			

# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2020年度	2年・前期/後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	特別講座/就職セミナー	ゲスト講師	1単位 18時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>			
<p>特別講座：現代社会においてクリエイターの役割は益々重要性を増し、その領域は日々拡大しつつあります。講座では創作における考え方、発想法をリアルタイムな講義を通して学んでいきます。</p> <p>就職セミナー：就職活動から入社後の心構えやクリエイターとしての取り組みなどについてセミナー講座を開催。 *1年生は夏課題と合わせて単位修得</p>			
<b>【講義概要】</b>			
7/11(土)就職セミナー1（卒業生）、9/5(土)海外留学準備コース講座1、9/26(土)同窓会特別講座、10/2(金)海外留学準備コース講座2、12/12(土)創形展特別講座、2/13(土)就職セミナー（就活ポートフォリオ）			
回	授業計画及び学習の内容		
1	就職セミナー1		
2	海外留学準備コース講座1		
3	同窓会特別講座		
4	海外留学準備コース講座2		
5	創形展特別講座		
6	就職セミナー（就活ポートフォリオ）		
<b>【成績評価方法】</b>			
<p>課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。</p> <p>なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。</p> <p>合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
<b>【授業の特徴・形式と教員紹介】</b>			
講義・ディスカッション形式を基本とする。			

# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2020年度	2年留学生・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	日本語能力試験N1対策	蔣 燕萍	2単位 63時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>			
<p>①日本語能力試験N1に合格できる力を付けること。            ②試験対策にとどまらない全般的な語彙の力をつけること。</p>			
<b>【講義概要】</b>			
試験に出題される「文字語彙」「文法」「聴解」の練習問題の解答を通じて日本語力を向上させること。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション	17	講義
2	講義	18	講義
3	講義	19	講義
4	講義	20	講義
5	講義	21	試験
6	講義		
7	講義		
8	講義		
9	講義		
10	講義		
11	講義		
12	講義		
13	講義		
14	講義		
15	講義		
16	講義		
<b>【成績評価方法】</b>			
<p>試験を行い100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。            なお出席が全体の2/3以下の場合、成績評価の対象外となる。            合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
<b>【授業の特徴・形式と教員紹介】</b>			
<p>講義・ディスカッション形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。            中国福建省出身。2008年来日。2011年日本語能力試験N1合格。2014年3月札幌大学経営学部経営学科卒業。            2014年4月株式会社アイデム入社。新卒担当のエージェントとして留学生の就職をトータルサポート。2016年7月より創形美術学校にて主に広報活動と留学生教育に携わる。</p>			

# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2020年度	2年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	デザインプロセス	松蔭浩之	2単位 42時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>			
<p>一年次のPC実習の履修度の確認と、さらなるスキルアップをはかる。デジタルカメラ撮影法とあわせ、Adobe社のイラストレータとフォトショップを駆使し、デザインワークの領域を拡大する。後半は「セルフポートレイト」を使用したCDジャケット制作に取り組む。</p>			
<b>【講義概要】</b>			
<p>「写真」を使った「CDジャケット」のデザインと、DTP印刷納品までのプロセスを享受。講義とワークショップを毎回繰り返しながら、CDというフォーマットで作品を完成させる。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション 課題提示		
2	イラレ1		
3	イラレ2		
4	イラレ3		
5	課題提示		
6	フォトショ1		
7	フォトショ2		
8	フォトショ3		
9	課題提示		
10	デジカメ1		
11	デジカメ2		
12	CDジャケットワークショップ1		
13	CDジャケットワークショップ2		
14	講評会		
<b>【成績評価方法】</b>			
<p>課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
<b>【授業の特徴・形式と教員紹介】</b>			
<p>実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 1965年福岡県生まれ。1988年大阪芸術大学写真学科卒業。現代美術家。写真、グラフィック、空間デザインなど多岐にわたって活動。ヴェネツィアビエンナーレ、シンガポールビエンナーレ出展。『昭和40年会』会長。</p>			

# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2020年度	2年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	企画制作実習	山本哲次	2単位 84時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>			
<p>社会におけるデザインの役割を理解し、自分の可能性を見いだすことを目標とします。「情報」を分析し、整理整頓して「デザイン」というカタチに構築し直すことを理解すること。また制作体験を通して作品制作に自信を持ち、自主的に制作できることを目標とします。</p>			
<b>【講義概要】</b>			
<p>新しい美術館の企画を立て、そのロゴマークが入ったグッズとフライヤーを完成させます。情報収集、分析評価を行いながら企画立案、アイデア出し、制作、展開まで体験し、更に試作や検証を繰り返すことにより作品の完成度を上げることを学びます。また、授業内で現在のデザイナーの役割や制作方法などの講義を行います。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	演習1・2・3制作	17	演習6・7制作
2	演習1・2提出/講義	18	演習6・7 チェック
3	講評	19	演習6・7制作
4	演習3制作	20	演習6・7 提出
5	演習3 チェック/講義	21	演習8・9・10・11制作
6	演習3・4制作	22	演習8・9 提出/演習10・11 チェック
7	演習3 提出/演習4 チェック	23	演習10・11 チェック
8	演習3 修正/演習4・5 制作	24	演習10・演習11制作
9	演習3・4・5 チェック	25	演習10 提出/演習11 試作チェック
10	演習3・4 修正/演習5制作	26	演習11制作
11	演習3再提出/4 提出/5 チェック	27	演習11プレゼン前 チェック
12	演習5 制作	28	講評会
13	演習5 チェック		
14	演習5 制作		
15	演習5 提出		
16	演習6・7制作		
<b>【成績評価方法】</b>			
<p>課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
<b>【授業の特徴・形式と教員紹介】</b>			
<p>実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 1962年千葉県生まれ。東京藝術大学大学院V.C.D専攻修了。花王株式会社を経て、1993年山本デザイン室を設立。花王、りそな銀行をはじめとした広告、パッケージ、クラレ、東京交響楽団、NewYorkerなどのCI.VIのデザインに携わる。日本雑誌広告賞、グッドデザイン賞、デザインフォーラム、世界ポスタートリエンナーレトヤマ他、受賞多数。JAGDA総務財務委員・東京TDC会員・日本デザイン団体協議会(D-8)JDM設立研究委員・東京都中央区サッカー協会理事。</p>			

# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2020年度	2年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	メディアブランディング基礎	佐藤芽生	2単位 45時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>			
メディアとはなにかを『知り』、『考え』、『アウトプットする』の工程を繰り返し経験し、クリエイティブに向かう基本姿勢を身に着けることを目指します。			
<b>【講義概要】</b>			
メディアの性質を学び、思考を制作物に落とし込むワークを行います。また、他者との対話を通じて集客課題に取り組みます。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション① (想定課題)		
2	企画/プレゼン演習		
3	ラフ制作		
4	制作		
5	制作指導		
6	制作/プレゼン準備		
7	講評①		
8	オリエンテーション② (グループ制作)		
9	企画		
10	企画		
11	ラフ制作		
12	制作		
13	制作/プレゼン準備		
14	制作/プレゼン準備		
15	講評② (ふりかえり)		
<b>【成績評価方法】</b>			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
<b>【授業の特徴・形式と教員紹介】</b>			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 1990年生まれ。創形美術学校ビジュアルデザイン科卒業後、web制作会社に入社。その後、一般企業でインハウスデザイナーとしてブランディングを担当。現在はフリーで活動。			

# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2020年度	2年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	タイポグラフィ基礎	小田敬子	2単位 81時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>			
フォント制作においてブラッシュアップを繰り返し、質のこだわるデザインマインドを身に着けます。			
<b>【講義概要】</b>			
欧文フォントのデザインにおいて、アイデア、ルール作りから精緻化までの一連の流れを学びます。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	課題1~3授業 ガイダンスとプランニング	17	課題10 Glyphs miniでスペーシング
2	課題4 hopからの派生文字のデザイン	18	課題10 Glyphs miniでスペーシングとバランス調整
3	課題4 hopからの派生文字の説明とガイドチェック	19	課題10 Glyphs miniでスペーシング
4	課題4 ブラッシュアップ	20	課題11 パッケージデザイン企画
5	課題5 v・fグループと基本文字から作れない4文字のデザイン説明とチェック	21	課題11 パッケージデザイン制作
6	課題5 v・fグループと基本文字から作れない4文字のデザイン	22	演習8・9 提出/演習10・11 チェック
7	課題6 小文字を図形データへ	23	課題11 パッケージデザイン初回デザイン会議
8	課題6 ブラッシュアップ	24	課題12 プレゼン資料制作
9	課題7 大文字のラフデザイン	25	課題12 プレゼン資料制作
10	課題7 大文字のラフデザイン	26	課題13 プレゼンテーション
11	課題8 記号のラフデザイン	27	提出締切 プレゼンテーション予備日
12	課題8 大文字・記号を図形データへ		
13	課題9 大文字・記号を図形データへ		
14	課題9 大文字・記号を図形データへ		
15	課題10 Glyphs miniでスペーシング		
16	課題10 Glyphs miniでスペーシング		
<b>【成績評価方法】</b>			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100~95：A+ 94~80：A 79~70：B 69~60：C) 不合格(59~0：D) 仮処置：保留			
<b>【授業の特徴・形式と教員紹介】</b>			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 1964年東京都生まれ。1988年東京藝術大学美術学部デザイン科卒業。1990年同大学大学院美術研究科修了。 デザイン会社、印刷会社で勤務後、デザインオフィス『Design Blitz』を発足。 VI、広告、パッケージ等のデザインに携わる。幼児美術教育、美術大学受験指導、専門学校、大学にてデザインの指導経験を経て、現在に至る。			



# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2020年度	2年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	広告デザイン基礎	原口昌彦	1単位 39時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>			
<p>プロになるための基礎的な要素を実践形式で身につけていく。企画、立案、設計に必要なアイデアの構築とその仕組みを広告グラフィック・デザインをベースに展開する。</p>			
<b>【講義概要】</b>			
<p>テーマごとに実践形式の課題を出し制作を実施。問題点の抽出と改善をプロセスを通して発見出来るワークフローを身につける。制作終了後プレゼンテーション・講評を実施。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエン・課題発表・制作指導		
2	制作		
3	課題対応・個別指導		
4	制作		
5	課題案修正・決定		
6	制作		
7	2回目・課題発表・制作指導		
8	制作		
9	課題対応・個別指導		
10	制作		
11	課題対応・個別指導・制作完成		
12	制作		
13	講評会		
<b>【成績評価方法】</b>			
<p>課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。            なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。            合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
<b>【授業の特徴・形式と教員紹介】</b>			
<p>実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。            東京生まれ。1981年東京藝術大学美術学部卒業後、同年4月より（株）電通アートディレクターとして、クリエイティブ局勤務。主にグラフィック広告の制作に努める。2012年電通退社後クリエイターとして活動。</p>			

# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2020年度	2年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	描写イラストレーションA	関根秀星	1単位 24時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>			
モノの本質的、外見的な観察力を養い、正しいプロポーションで描く。インプットからアウトプットへ、表現における一連の作業の大切さ、方法を学ぶ。講評により、自作品を客観的に見る力をつける。			
<b>【講義概要】</b>			
鉛筆を用いてモチーフを描く。最終課題では画面構成や見せ方も意識し、作品としての高い完成度をを目指す。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション		
2	制作指導		
3	課題作品講評		
4	制作指導		
5	課題作品講評		
6	制作指導		
7	制作指導		
8	制作指導・講評		
<b>【成績評価方法】</b>			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
<b>【授業の特徴・形式と教員紹介】</b>			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 2008年創形美術学校ビジュアルデザイン科卒業。Free Art Magazine S 編集兼、掲載アーティスト。千葉デザイナー学院非常勤講師。鉛筆と色鉛筆を用い、フットボールイラストレーション、ポートレイトを中心に描くイラストレーター。			

# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2020年度	2年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	映像ワークショップ	三田村光土里	1単位 30時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>			
<p>現代社会のクリエイティブ環境の中には、ますますアートの感性や発想を求められる機会が増えてきています。それらは目指す共通の理念がアートとデザイン共に人に「感動」を与える事を目標にしているからに他なりません。そういった時代の流れを受けて様々なアートの分野より活躍している講師からリアルタイムな現場の情報と方法論を学び、クリエイティブな発想の「入口」、「きっかけ」になる講座をめざします。</p>			
<b>【講義概要】</b>			
<p>フォト・ストーリーをつくろう</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション		
2	制作チェック		
3	制作		
4	制作チェック		
5	制作チェック		
6	制作		
7	制作チェック		
8	制作チェック		
9	制作		
10	発表・講評		
<b>【成績評価方法】</b>			
<p>課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。          なお出席が全体の2/3以下の場合、成績評価の対象外となる。          合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
<b>【授業の特徴・形式と教員紹介】</b>			
<p>実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。          現代美術家。1964年生まれ。写真を使った空間作品を国内外で発表。2006年ウィーン分離派館にて個展。2003年東京都写真美術館『日本の新進作家展vol.2』。2016年あいちトリエンナーレ他。</p>			

# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2020年度	2年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	エディトリアルデザイン基礎	奥定泰之	1単位 45時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>			
「読むこと／見ること」をどうデザインでコントロールするかを意識しながら、エディトリアル作品を制作する。また実際の制作現場に対応できるような、素材や構造、印刷方法なども身につける。			
<b>【講義概要】</b>			
InDesignというアプリケーションを使って、レイアウト、素材、構造などを意識しながら、冊子形式のエディトリアル作品を試作する。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション		
2	制作		
3	制作チェック		
4	制作		
5	制作チェック		
6	制作		
7	制作チェック		
8	制作		
9	制作チェック		
10	制作		
11	制作チェック		
12	制作		
13	制作チェック		
14	制作		
15	講評会		
<b>【成績評価方法】</b>			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
<b>【授業の特徴・形式と教員紹介】</b>			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 1970年愛媛県生まれ。グラフィックデザイナー。株式会社オクサダデザイン代表。主に書籍や雑誌のデザインを手がける。第40回、46回造本装幀コンクール入賞。第2回竹尾賞優秀賞。共著に『感性と社会』（論創社）。『近代デザイン史』（武蔵野美術大学出版局）。JAGDA会員。早稲田大学非常勤講師。			

# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2020年度	2年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	描写イラストレーションB	須田浩介	1単位 24時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>			
対象物をよく見る事でその物の持つ色や質感などを捉え、アクリル絵の具を混色する事や、色を重ねる事で生の絵の具やデジタルでは生み出せない色を自らの手で作り対象の持つ色の再現度を高める事を目指します。			
<b>【講義概要】</b>			
水張りした紙、アクリルガッシュ、筆を使用し用意したモチーフをカラーで描く、絵の具を使う時のルールを授業時に指示します。イラストレーションにおけるリアリティーと想像で描く事とモチーフを見て描く事の違いを考え学ぶ。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション		
2	モチーフを見て描く		
3	制作		
4	中間講評		
5	コラージュしたモチーフを描く		
6	制作		
7	制作		
8	講評会		
<b>【成績評価方法】</b>			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
<b>【授業の特徴・形式と教員紹介】</b>			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 イラストレーター。2008年創形美術学校ビジュアルデザイン科卒業、同年シテデザールに派遣。2008年～2013年フリーアートマガジンS発行、雑誌・装画・ポスター等の仕事を手がけ、アクリル絵の具を使ったファッション感のある人物、動物等を主に描く。跡見学園女子大学イラスト非常勤講師			

# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2020年度	2年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	ブックデザイン	守先 正	2単位 60時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>			
<p>インデザインの操作を習得して、文字組みの基本を学習します。使用する紙のことまで考えて、本が1冊どのようにしてできあがるのかを学習します。</p>			
<b>【講義概要】</b>			
<p>自分が気になる小説を選びます。どのような書体を使って、どのようなふうに文字を組むのか。内容にふさわしい本文の組み方をインデザインを使って実習します。四六判の本のカバーまわり（カバー、オビ、表紙、見返し、別丁とびら）のデザインをします。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション、本文デザイン	17	制作
2	制作	18	制作
3	制作	19	制作
4	制作	20	講評会
5	本文デザイン		
6	制作		
7	制作		
8	制作		
9	カバーまわりデザイン案チェック		
10	制作		
11	制作		
12	制作		
13	制作		
14	制作		
15	カバーまわりデザイン試作チェック		
16	制作		
<b>【成績評価方法】</b>			
<p>課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。          なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。          合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
<b>【授業の特徴・形式と教員紹介】</b>			
<p>実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。          1962年兵庫県生まれ。1986年筑波大学芸術専門学群卒業。1988年筑波大学大学院修士課程芸術研究科修了。          花王株式会社作成部、筑波大学芸術学系助手、鈴木成一デザイン室を経て、1996年有限会社モリスデザイン設立。主にブックデザインの仕事をを行う。2014年より多摩美術大学美術学部グラフィックデザイン学科、2016年より同大学美術学部統合デザイン学科非常勤講師。</p>			

# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 屋間部 (3年制)	2020年度	2年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	デザインとアート	松蔭浩之	1単位 21時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>			
現代美術の世界をわかりやすく解説。特にデザインの的に重要と考える作家と技法を紹介し、実践を試みる。			
<b>【講義概要】</b>			
美術史の流れの中で生まれた技法や手法を用いて、今までの自分とは異なる“変わった”作品を制作。座学とワークショップ形式の授業から現代美術を体感する。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	DADA～アヴァンギャルドの時代		
2	イヴ・クライン～ヌーヴォレアリスム		
3	アンディ・ウォーホル～ポップアート		
4	ジェフ・クーンズ～シュミレーションニズム		
5	会田誠と小沢剛～シュミレーションニズム2		
6	現代の美術のあり方		
7	講評会		
<b>【成績評価方法】</b>			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
<b>【授業の特徴・形式と教員紹介】</b>			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 1965年福岡県生まれ。1988年大阪芸術大学写真学科卒業。現代美術家。写真、グラフィック、空間デザインなど多岐にわたって活動。ヴェネツィアビエンナーレ、シンガポールビエンナーレ出展。『昭和40年会』会長。			

# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2020年度	2年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	ブランドプロデュース	田中北斗	2単位 42時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>			
商品ブランディングにおける小型グラフィックの展開。			
<b>【講義概要】</b>			
<p>各自の身近な産業や特産物などを題材にし、商品としてのブランド作りから小型グラフィックデザインまでを提案する。</p> <p>①世の中の小型グラフィックデザインを検証。            ②身近な産業や特産物を知る。            ③ブランディングのプラン作り。            ④小型グラフィックデザイン制作。            ⑤プレゼンテーションによる発表と講評</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション・業態企画の検討		
2	業態企画の発表（業態コンセプト・ネーミング）		
3	店舗ロゴマークデザイン		
4	店舗ロゴマーク案の発表		
5	店舗イメージ（店舗外観・制服等）		
6	店舗イメージの発表		
7	パッケージ（ギフト・テイクアウト用等）		
8	パッケージデザイン案の発表		
9	宣伝ツール（DM・カード・フライヤー等）		
10	宣伝ツールデザイン案の発表		
11	各種アイテム制作		
12	チェック・修正・モックアップ制作		
13	総合企画書制作及びプレゼン準備		
14	講評会		
<b>【成績評価方法】</b>			
<p>課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。            なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。            合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
<b>【授業の特徴・形式と教員紹介】</b>			
<p>実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。</p> <p>1971年東京都生まれ。1994年創形美術学校グラフィックデザイン科卒業。1995年同校研究科修了。2002年ホクトデザインルーム設立。企業や店舗のブランディング、グラフィックデザイン、WEBディレクションなどを中心に活動。豊島区のイベントプロデュースも手掛ける。東京都中小企業支援専門家（デザインコンサルティング）</p>			



# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2020年度	2年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	WEBコミュニケーション	秋山カズオ、 中須賀美和子	2単位 45時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>			
WEBメディアを利用したコミュニケーションの基礎知識を課題を通して理解していきます。インサイトを理解し、伝わる表現や使いやすいWEBデザインの習得を目標とします。			
<b>【講義概要】</b>			
WEBのトレンドやルールを知識として学習するだけでなく、トークショーやグループワークなどを通して理解していただきます。最終的にはWEBサイトの制作を行い、実践的なスキルの習得を目指します。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	WEBプロモーションってなあに？		
2	SNSの違いを知ろう！		
3	インターフェイスの重要性		
4	WEBサイトデザイン1		
5	WEBサイトデザイン2		
6	WEBサイトデザイン3		
7	コーディング実習1		
8	コーディング実習2		
9	リスティング・リターゲティング・SEO		
10	これからのWEBプロモーションとは？		
11	WEBプロモーション企画1		
12	WEBプロモーション企画2		
13	WEBプロモーション企画3		
14	WEBプロモーション企画4		
15	発表・講評		
<b>【成績評価方法】</b>			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
<b>【授業の特徴・形式と教員紹介】</b>			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 秋山 カズオ：1970年香川県生まれ。株式会社DELUXE設立。コミュニケーションディレクター。ブランディング、WEBプロモーション、パッケージ、CI/VI、広告制作。東京TDC正会員。日本BtoB広告賞金賞、日本パッケージデザイン大賞。 中須賀 美和子：1979年愛知県生まれ。名古屋芸術大学美術学部デザイン学科卒業。レシップ株式会社デザイン室勤務を経て株式会社DELUXEに入社。L'OCCITANE、ROLA×REBECCA MINKOFF、Cafe de Miki with Hello Kittyなど。			

# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2020年度	2年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	マーケティング	山本哲次	2単位 48時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>			
<p>お店の企画立案から広告デザインまでの制作を通して、企画・戦略・表現の関係を学習します。特にこの授業では、ビジネスにおいて最も重要視されるマーケティングを学び、表現メディアに求められる本質とその役割についてを学びます。将来、職種を広げた場合でもビジネスを生み出していく力をつける授業です。</p>			
<b>【講義概要】</b>			
<p>グループで制作する授業です。経営のかんばしくないお店を立て直す戦略を練り、企画立案・媒体計画を立て、広告デザイン案の制作を行い、プレゼンテーションまで行います。また、授業内でマーケティングやアイデアの出し方、美しい表現のポイントなどについての講義を行います。企画の立て方や制作プロセスは、授業の中で説明します。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション／講義		
2	仮説を立てる		
3	リサーチの発表		
4	ターゲットの設定		
5	ターゲットの心理の洗い出し		
6	グルーピング		
7	インサイトの発見		
8	インサイトの発見		
9	インサイトとプロポジション／講義		
10	コンセプト作成／講義		
11	企画書作成／ネーミング		
12	企画書作成／講義		
13	媒体計画案／ロゴプレゼン／講義		
14	企画プレゼン／媒体別デザイン案試作／講義		
15	媒体別デザイン案試作		
16	プレゼンテーション／講評		
<b>【成績評価方法】</b>			
<p>課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
<b>【授業の特徴・形式と教員紹介】</b>			
<p>実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 1962年千葉県生まれ。東京藝術大学大学院V.C.D専攻修了。花王株式会社を経て、1993年山本デザイン室を設立。花王、りそな銀行をはじめとした広告、パッケージ、クラレ、東京交響楽団、NewYorkerなどのCI.VIのデザインに携わる。日本雑誌広告賞、グッドデザイン賞、デザインフォーラム、世界ポスタートリエンナーレトヤマ他、受賞多数。JAGDA総務財務委員・東京TDC会員・日本デザイン団体協議会(D-8)JDM設立研究委員・東京都中央区サッカー協会理事。</p>			

# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2020年度	2年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	広告デザイン	原口昌彦	1.5単位 60時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>			
メディアと広告表現の関係を実践的に捉え、グラフィックのメディアと表現方法を吟味し、課題に対して現実的な視点の上で制作提案して行く。			
<b>【講義概要】</b>			
課題ごとにメディアを設定し、その上で最適な広告表現（視覚化）をしていく。「テーマ」は授業内で発表、制作終了後プレゼンテーション・講評実施。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション	18	制作
2	制作	19	制作
3	制作	20	講評
4	制作		
5	制作チェック		
6	制作		
7	制作		
8	制作		
9	制作		
10	制作		
11	制作チェック		
12	制作		
13	制作		
14	制作		
15	制作		
16	制作チェック		
17	制作		
<b>【成績評価方法】</b>			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
<b>【授業の特徴・形式と教員紹介】</b>			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 東京生まれ。1981年東京藝術大学美術学部卒業後、同年4月より（株）電通アートディレクターとして、クリエイティブ局勤務。主にグラフィック広告の制作に努める。2012年電通退社後クリエイターとして活動。			

# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2020年度	2年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	デザインの仕事と現場	大久保裕文	1単位 39時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>			
印刷媒体を中心としたグラフィックデザインのアイデアや実際の作業の説明。			
<b>【講義概要】</b>			
いままで経験したデザイン事例の解説。数回、編集者やカメラマンを呼んで、彼らとの仕事の関連事例を伝える。課題としては街の風景写真、フライヤー制作、アルファベットのタイポグラフィ制作など。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション		
2	講義、ディスカッション		
3	講義、ディスカッション		
4	講義、演習		
5	講義、ディスカッション		
6	講義、ディスカッション		
7	講義、演習		
8	講義、ディスカッション		
9	講義、ディスカッション		
10	講義、演習		
11	講義、ディスカッション		
12	講義、ディスカッション		
13	発表・講評		
<b>【成績評価方法】</b>			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
<b>【授業の特徴・形式と教員紹介】</b>			
講義およびディスカッション形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 1959年東京都下谷生まれ。セツ・モードセミナー、桑沢デザイン研究所卒業。雑誌を中心に書籍、ポスター、新聞広告等で活動中。2005年、2006年読売広告金賞。2009年桑沢賞受賞。			

# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2020年度	2年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	ブランディングデザイン	田中北斗	1.5単位 63時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>			
商品ブランディングにおける小型グラフィックの展開。商品企画～パッケージデザイン、構造、SP計画に至るまで、幅広い知識を育てる。			
<b>【講義概要】</b>			
業態の企画、ネーミング、キャッチコピー、ロゴマーク、メニュー、サイン計画、店舗イメージ、宣伝ツール等トータルデザイン。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション	18	モックアップ制作
2	商品企画の検討	19	モックアップ制作
3	課外授業	20	企画書制作
4	商品企画の制作	21	プレゼン・講評
5	商品企画の発表		
6	デザイン案 制作開始		
7	制作		
8	制作		
9	制作		
10	制作		
11	デザイン案 チェック		
12	修正・制作		
13	修正・制作		
14	修正・制作		
15	修正・制作		
16	モックアップ制作		
17	モックアップ制作		
<b>【成績評価方法】</b>			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
<b>【授業の特徴・形式と教員紹介】</b>			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 1971年東京都生まれ。1994年創形美術学校グラフィックデザイン科卒業。1995年同校研究科修了。2002年ホクトデザインルーム設立。 企業や店舗のブランディング、グラフィックデザイン、WEBディレクションなどを中心に活動。豊島区のイベントプロデュースも手掛ける。東京都中小企業支援専門家（デザインコンサルティング）			

# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2020年度	2年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	アートディレクション	大石恵美子	2単位 54時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>			
<p>アートディレクションの根幹である「ビジュアルでコミュニケーションをする」ための3つの基本的な力を養います。①柔軟な発想力 ②幅広い表現力（得意な技法を極め、不得意・未知の分野に挑戦する）③物量を克服する持久力と執着心</p>			
<b>【講義概要】</b>			
<p>1つのテーマから100種類のビジュアルを作ります。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション	18	プレゼン・講評
2	制作		
3	制作		
4	制作		
5	制作		
6	制作		
7	制作チェック		
8	制作		
9	制作		
10	制作		
11	制作		
12	中間チェック		
13	制作		
14	制作		
15	制作		
16	最終チェック		
17	制作		
<b>【成績評価方法】</b>			
<p>課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
<b>【授業の特徴・形式と教員紹介】</b>			
<p>実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 アートディレクター。1987年東京藝術大学卒業。1989年同大学院デザイン科修了。株式会社電通入社。 ニューヨークADC、ニューヨークフェスティバル、クリオ賞、カンヌ広告賞、他受賞多数。『新アートディレクター入門』編集、『プロモーションとアートディレクション』執筆。</p>			

# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2020年度	2年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	ポスターデザイン	草谷隆文	2単位 60時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>			
<p>今まで学んだテーマから、タイポグラフィを主体としたポスター作り。B全もしくはB倍の大型ポスターを作る事により、文字のディティールを追求、研究する。</p>			
<b>【講義概要】</b>			
<p>各自、漢字、カタカナ、ひらがな、アルファベットを1文字選び、文字の持つディティールを研究しつつ、ファインアートを取り込んだポスター作品を制作。指導者も同時に制作し、おのおのディスカッションをして進めていく。企画のたて方や進め方は授業の中で説明。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	第一回案の発表 修正のアドバイス	18	制作
2	制作	19	制作
3	制作	20	授業開始までに作品完成。講評
4	制作		
5	制作		
6	制作		
7	修正を持参、各自チェック、アドバイス		
8	制作		
9	制作		
10	制作		
11	制作		
12	制作までのプロセス決定		
13	制作		
14	制作		
15	制作		
16	制作&アドバイス、以下出力へ		
17	制作		
<b>【成績評価方法】</b>			
<p>課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
<b>【授業の特徴・形式と教員紹介】</b>			
<p>実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 1963年静岡県生まれ。1985年玉川大学文学部教育学科教育哲学専攻卒業。1989年廣村デザイン事務所入社。1996年有限会社草谷デザイン事務所設立。 [入選/受賞歴] 1994年準朝日広告賞。1995年JAGDA新人賞。2001年グッドデザイン賞部門賞。2008年準朝日広告賞。2009年朝日広告賞グランプリ。</p>			

# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2020年度	2年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	就活ポートフォリオ/インターンシップ	上野仁志、山本哲次	2単位 90時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>			
<p>仕事に対する意識を高め、就職活動を知り、将来計画のきっかけをつくることを目標とします。            インターンシップを経験することにより、専門的知識についての実務能力を高めるとともに、学習意欲に対する刺激を得られ、高い就業意識を身につけることができます。さらに、将来の進路選択において自らの適性や能力について実践的に考える機会になります。クリエイティブ業界の最新の情報を得られるとともに、会社が求める人材に対するニーズが把握できる事も大きなメリットです。</p>			
<b>【講義概要】</b>			
<p>自分のポートフォリオを制作し、プレゼンテーションを行ないます。また、就職についての講義を行ないます。            就業体験（インターンシップ）をし、実習レポートをまとめて提出。（希望選択制）</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	1回目（講義：ポートフォリオについて）	18	ポートフォリオチェック
2	ポートフォリオチェック	19	制作
3	講義（面接・プレゼン）	20	個別アドバイス
4	制作	21	制作
5	ポートフォリオチェック	22	ポートフォリオチェック
6	制作	23	制作
7	ポートフォリオチェック	24	個別アドバイス
8	制作	25	制作
9	制作	26	制作
10	2回目（講義：クリエイティブの就職について）	27	ポートフォリオチェック
11	制作	28	制作
12	ポートフォリオチェック	29	制作
13	制作	30	4回目（講義：クリエイティブの就職について）
14	制作		
15	3回目（講義：クリエイティブの就職について）		
16	制作		
17			
<b>【成績評価方法】</b>			
<p>課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。            なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。            合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
<b>【授業の特徴・形式と教員紹介】</b>			
<p>講義及び実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。            1960生まれ。1980年立教大学経済学部経営学科中退。1984年東京藝術大学美術学部デザイン科卒業。1986年同大            大学院美術研究科デザイン専攻修了。株式会社博報堂入社。            デザイナー、アートディレクター、を経てマネジメントディレクターとしてクリエイターの人材発掘と育成を担う。</p>			